

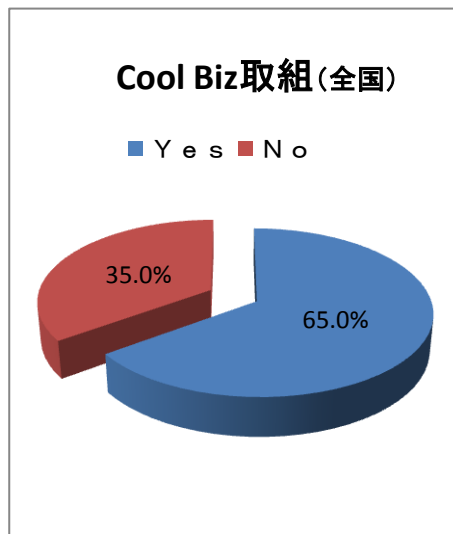
全国BMC夏期アンケート集約表（クールビズ・節電の取組）

全国BMC事務局

■ クールビズの取組

・各地区BMCより回答頂いたクールビズ取組については、140社中、91社（65%）が何らかの取組を行っているとのアンケート集約結果となりました。尚、各地区の取組傾向は下表を参照下さい。

クールビズの取組を行っているか？					
地 区	回答数	Yes	%	No	%
北海道BMC	8	1	12.5%	7	87.5%
東 北BMC	15	11	73.3%	4	26.7%
東 京BMC	18	18	100.0%	0	0.0%
北 陸BMC	6	2	33.3%	4	66.7%
名古屋BMC	10	7	70.0%	3	30.0%
京滋奈BMC	14	10	71.4%	4	28.6%
大 阪BMC	14	13	92.9%	1	7.1%
四 国BMC	7	2	28.6%	5	71.4%
中 国BMC	8	3	37.5%	5	62.5%
広 島BMC	14	7	50.0%	7	50.0%
九 州BMC	20	11	55.0%	9	45.0%
沖 縄BMC	6	6	100.0%	0	0.0%
Total	140	91	65.0%	49	35.0%



※沖縄のかりゆしウェア対応はYesにカウント。
 ※何等かの取組をしている場合Yesにカウント。

【クールビズ具体的な取組】 主なコメント抜粋

1. 管理部門等バック部門での実施（「TPOを弁え」を含む）……………77回答

※ クールビズ取組92回答中、77回答はあくまで記述があった回答数です。傾向からの推察ですが、実際は殆どに近い割合で管理部門（非営業部門）での取組があると思われます。取組の内容としては、ノーネクタイ、ノージャケット、女性の私服対応等ですが、営業スペースに出る際はジャケット・タイ着用との回答も有りました。

2. 営業部門での実施（「TPOを弁え」を含む）……………57回答

※ セールス部門では最も多かったのがお客様意識から「TPOを弁え実施」であった。ノーネクタイが多数回答の中、ノージャケット、半袖シャツを奨励しているホテルも数社あり、今回のアンケートから140社の内、約40%のホテルが営業部門でのクールビズ取組を行っている結果となった。

3. サービス部門での実施（宿泊部門含む）……………34回答

※ 回答内容が多岐にわたり、主なコメント毎に以下の通り集約致しました。

- ① 従業員（バック）スペースでのノーネクタイOK……………16回答
- ② スタンバイ時、又はユニフォームのポロシャツ対応……………4回答
- ③ レストラン部門でのノーネクタイ、ノースカーフ……………7回答
- ④ レストラン・宿泊部門でのアロハシャツ対応……………6回答
- ⑤ ユニフォームを夏服にて対応（新規購入2社含）……………8回答
- ⑥ 上着着用無し、シャツのみ着用、又はベストに変えて対応……………10回答
- ⑦ 半袖ワイシャツの奨励・対応……………9回答

※ 少数コメントですが以下のコメントが寄せられました。

- ・部門別にドレスコードで対応。
- ・クールビズを推奨も実際は9割以上がネクタイ着用。
- ・ノータイOKながらシャツはボタンダウンに限定。
- ・クールビズバッジを付けノータイ・ノージャケット対応。
- ・館内にクールビズ対応を表示。
- ・クールビズシャツを制服として支給（フロントリセプション、営業）。
- ・予定はなかったが企業訪問時、担当者から「なぜクールビズではないのか？」との意見が多かった為導入。
- ・沖縄のかりゆしウェア対応。
- ・センスのあるシャツで対応。
- ・制服部署は特に取組無し。

■ 節電の取組

・回答頂いた140社でそれぞれ節電取組を行っており、具体的な取組については下記に主な事項を取り纏めました。又、この度の東日本大震災の影響としてではなく、以前よりコスト・エコ意識等の観点から節電に取り組んでいる旨の回答が2社寄せられました。

【節電具体的な取組】 主なコメント抜粋

1. 空調稼働時間の短縮・設定温度の見直し.....58回答

・館内設定温度について(温度設定記載アンケートのみ)

	28℃	27℃	26℃	25℃	24℃	23℃以下
事務所・バックスペース	25社	5社	3社			
宴会場		3社	7社	1社	3社	
ホワイエ・パブリック		1社	3社	3社		
客室			3社			1社
レストラン			1社			
厨房					1社	

※通常の+2℃の対応:1社

・宴会場空調スタート時間(宴席開始時間からどの位前に空調を入れるか)

30分前	4社	1時間前	6社	1時間15分前	2社	2時間前	3社
------	----	------	----	---------	----	------	----

2. 照明等消灯管理の徹底の取組.....75回答

2-1. 館内照明のLED化の取組.....30回答

2-2. 照明の間引き及び照度減の取組.....57回答

3. エレベーター・エスカレーターの運転時間制限及び運転箇所見直しの取組.....29回答

4. パソコン・プリンター・コピー機等の電源管理及び省電力設定の取組.....20回答

5. 節電に関する委員会・プロジェクトを立ち上げ取り組んでいる.....7回答

6. 15%削減目標に対して設備部門、防災センターと事前チェックを行い取り組んでいる.....5回答

7. 会社において最大電力使用量算出、削減目標理論値から施策を打ち出し数値管理.....5回答

6. その他の取組

- 1) 客室・宴会場共にフロアコントロールの徹底.....4回答
- 2) 人感センサー、デマンド計等の導入.....6回答
- 3) ノー残業デイの取組。業務の効率化により在社時間の短縮の取組.....2回答
- 4) 節電効果をスタッフへ周知し更なる効果を期待.....5回答
- 5) 事務所設定温度28℃対応として扇風機の導入.....10回答
- 6) プライダルサロンの営業時間短縮.....2回答
- 7) 管理部門事務所(非接客部門)での空調OFF.....1社

【節電の取組で苦労している点、又は、スムーズにできている点】 地区別コメント

北海道BMC	<ul style="list-style-type: none"> ・ 着実に節電になっており、経費も圧縮されてきている。 ・ LEDへの変更により電気使用量は低減できている。 ・ 目が慣れていないためどうしても暗く感じてしまう。「震災、節電」というキーワードのもとに間引きをしているが、本当にお客様に対してこれでよいのかと疑問を感じる時がある。
--------	---

東 北BMC	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本格的な節電対策は本年が初めてであり、従業員の意識が本格的には進んでおりません。すでに公共施設で節電を進めているが、ホテルという施設の節電程度、例えば日本ホテル協会をはじめとする業界団体の指針などが明確でない。節電・クールビズ等についても業界としての方向性の指導が望ましい。 ・ 効果が大きい節電施策を策定、電力使用料過去実績から15%減の理論値算出、毎日状況管理。 ・ フロント前をLEDに変えたが、真下は明るいが回りは暗く全体印象が悪かったので元の電球に戻した。 ・ お客様から「節電は理解しているが暑い」と言うご意見がある。 ・ エスカレーターの停止はお客様よりしばしばご意見を頂戴いたしますが、階段・エレベーターがありますので、そちらで対応いたしております。
--------	---

東 北BMC	<ul style="list-style-type: none"> ・ エスカレーターの停止やロビーや会場前室等についてはお客様にはご理解いただいている。特に県や市などの行政については知事からの指示もあり、通常の宴席以上に照明などの節電を徹底している。 ・ 15%削減は達成している。節電マニュアルを作成し全社員で取り組んでいる。来年度の電気基本料金を削減すべく、更なる節電に挑戦しております。バックヤードの室温が非常に高く、社員のモチベーションに影響。
東 京BMC	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1)エスカレーターのON、OFFのタイミング(宴席等で遅着対応で内規の時間通りに行かない) 2)フロントサービス、レセプションスタッフのユニフォームについてはお客様からの声は賛否両論あり 3)照明関係においては、お客様の理解もあり『こんなに暗くて良いの?』と言う思いもありましたが、大きな混乱もなかった。4)営業担当、プライダスタッフのクールビズについては、アテンドに出る際には、自主的に上着を着用している。 ・ 省エネルギーの意識向上が感じられる。 ・ 節電当初は、エスカレーターを全て運転停止していたが、法令面・お客様の安全を最優先に配慮し、現在は全て運行。ホテルであるが故の、お客様にとって日常(節電)を感じさせない。(非日常) 営業面で、株主総会等の重要案件が停電を考慮し関西方面での開催となる。また、ホテルを利用しないことが、節電に繋がるとのことで宴席のキャンセル。 ・ ロビー・宴会場もゲストが移動するたびに温度が変わってしまうので、こまめに調節が必要。 ・ バックエレベーター一部停止による、リネン関係の上げ下ろし。 ・ パブリックスペースの消灯、エスカレーター・エレベーターの運転等ゲスト施設の使用状況により行うが難しい。 ・ 震災の影響もあり、殆どのゲストからは、節電への取り組みについても理解を得ているが、時折、一部のゲストからは、節電の取組に関してご意見を頂く時がある。従業員の意識は非常に高く、日々、社内においては施設管理部が中心となり、一日ごとの館内予想電力使用量を計算し、「節電注意報」なるボードを掲げ、色分け(赤・危険、黄色・注意、青・問題なし)をし、スタッフへの情報伝達に努めている。 ・ 1)電力の使用量メーターが付いていないので、実際に取り組んだ結果の数値が分からない為に、削減の目安が分からない。2)宴会場のバックスペース通路の間引き(約半分の蛍光灯を外した)等間隔で蛍光灯などを間引いたが、暗さはあったが、慣れてくると問題なし。3)宴会場でのスタンバイ時、蛍光灯もしくは、LEDダウンライトで実施している。4)宴会場で100名以上が一気に入室したときの室内温度上昇に、対応できない時がある。 ・ 特にないが、震災直後は”節電を行っていない事”にゲストよりご意見を頂いていたが、最近では節電の度合いで「やり過ぎでは?」のご意見を頂く。
北 陸BMC	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日のピーク時の電気使用量を朝のミーティング時に必ず報告する。館内の空調や照明についてはこまめに調節する。 最大需要電力1.000kwでマニュアルにもとづいて対応する。 ・ 改めての認識の中での今まで当たり前になっていた点灯箇所&時間の見直しが別の視線からのチェックにてまだまだ節電が出来るものだった。 ・ ①エアコン設定温度と実際の室温との差 (25℃設定でも28℃~29℃ある場所が多い) ②社員ユニフォーム (オールシーズン制服の為本人の暑さ、見た目の暑さが問題) ③節電対策案の実行力 (社員の意識を高く保つ事が難しい)
名古屋BMC	<ul style="list-style-type: none"> ・ LEDに変えても光の遮幅が狭く、営業打合せ箇所(宴会打合せ等)では適さない。お客様も節電意識が高いので多少照明の照度を落としてもご理解いただける。 ・ お客様用スペースには一切手を加えておりません。冷房も例年通りで快適さを優先しております。他ホテル様はどの様に取り組んでいるのか興味がありますので教えて下さい。 ・ 事務所や店舗など単体での空調の入れ切りや温度調整ができない(人の居ないところにも空調が入る)。プルスイッチや省エネタップなどの設置が遅れている(外注不可の為)。 ・ 噴水の停止に関しては、総支配人名でご理解とお詫びのボードを掲示しお客様がらご理解して頂いています。バックヤードに関しては、ブリッケーや汚れのチェックの妨げにならぬよう気を付けています。 ・ 日常の空間ではないものを求めて来館されている方が多い中で、現状の節電対応に対してのご指摘を受けた場合に、ご協力いただきたい気持ちと心苦しい面がある。
京 滋 奈BMC	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的に節電数値を明確にするようにしています(見える化システム)。 ・ 特に問題ないが、お客様に迷惑が掛らない事が大前提となるので各自の意識と臨機応変な対応が必要。 ・ 世の中の流れが、節電ムードなので比較的スムーズに移行出来ている。但し、非日常的空間をご提供するホテルにおいては、どの程度まで行っていくのか、考えられる部分が多くある。 ・ 事務所(バックスペース)は節電への取り組みはスムーズに行っています。営業スペースにおいてはお客様の入り具合により設定温度の調整等を行っていることが苦勞している点です。また、特に宴会スタッフが会場を作り上げる際、多量の汗の後、お客様をアテンドしないといけないことが懸念されてます。もちろんひどい場合は着替えという選択はありますが…。

大 阪BMC	<ul style="list-style-type: none"> ・ 震災の影響もあるが、従業員全体の節電への意識は高まっている。 ・ 【問題点】: エアコン稼働について、制服勤務者はただ暑いだけとなり仕事の効率が良いとは必ずしもいえない状態 【スムーズな点】: 閑散時間帯におけるエレベーターの一部停止など ・ 営業部門ではノーネクタイには抵抗があり実際は行われておりません。 ・ 宴会場はその都度体感温度が変化するので常温管理が困難。 ・ お客様の理解度が非常に高いので、現在特に問題はありません。 ・ お客様用スペースの各対策については、平日のみ実施。
四 国BMC	<ul style="list-style-type: none"> ・ ショールームした会場の照明の消し忘れが目立つ。お客様を優先する為かOFFのタイミングを図りかねている。
中 国BMC	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空調の温度管理がとても難しい。(特に、お客様利用場所) ・ 自動照明センサーは効果が出ている。 ・ 全館の電球をLEDに変える方向ではあるが、LED電球の価格がまだ高く1度に変えることが難しい。(LEDに変えることにより空調等の消費電力を抑えることができますが、現状できる範囲内でしか取替えを行ってなく、出来ない所は省エネ球に取り替えている) ・ 従業員一人一人の意識改革と習慣付けとなる標語やスローガンが効果的。
広 島BMC	<ul style="list-style-type: none"> ・ バックヤード部門については以前より暗くなったが大きな支障もなく業務の遂行が出来ている。 ・ お客様にご理解いただくことが難しい場合がある。事例として、宴会場空調を開始1時間前からとしていることについて、お客様より開始30分前に入室されるゲストが気分よく入ってくださるか心配との事。空調機運転時間を削減するより、装飾用照明等を消灯したほうが良いのではとご意見を戴いた。 ・ 「くつろぎの空間」を提供すべきホテルにおいて、どこまでの協力をお客様に求めるかについての線引きは非常に難しい所である。・弊社では節電について特段のアピールはしておりません。しかし、同業他社の周りを見ると節電を誇張アピールし、お客様にホテル方針を強いている所も見受けられます。考え方の違いだとは思いますが、来館されるお客様が使用するパブリックスペースに節電の協力を求めるのはホテル本来の「生業」から外れている感は否めません。 ・ 従業員のエレベーター使用を控える点について、セクションによりまちまちである。
九 州BMC	<ul style="list-style-type: none"> ・ 急なショールーム等の対応で、照明・空調に手間がかかる。 ・ LED照明など初期投資が大きい。 ・ お客様側に節電取組に関して理解を得られない事がある。 ・ 通常設定温度(23.5℃)にもかかわらずホテル全体が暑いといわれる。
沖 縄BMC	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今の時期なのでお客様、スタッフの理解を得やすい。 ・ 一部の照明には、タイマーを設置して自動でON/OFFしておりますが、半数以上がスタッフによる操作となるので、消し忘れ、つけ忘れがあり現場徹底に苦労しております。